

平成30年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 海洋自然科学科 生物系

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

1 絶滅危惧生物（ここでは主にラン科植物）と自然保護に関する下記の文章を読んで、あなたが下線部内の「討論」に加わるとしたら、どのような立場を表明するか。また、あなたと逆の意見をもつ「わからず屋」に対して、どのような説明をすれば納得してもらえるだろうか。400字以上、600字以内で論述しなさい。

なお、本問は、あなたの論理的思考力、洞察力、文章表現力を見るためのものであり、あなたが取る立場がどのようなものであれ、それが採点に影響を及ぼすことはない。

非公開

（塚谷裕一、『蘭への招待—その不思議なかたちと生態』、集英社、2001年、210～211ページ、抜粋・一部改変）

2

黒潮が流れる亜熱帯の海に、火山活動による新しい島が形成された。島の形成から数年が経過し、これまで禁止されていた人間の上陸が研究目的に限り許可されることになった。これまでのドローンによる調査から、陸域の植物や鳥類、浅海域の海藻や魚類、貝類などが既に確認されている。

あなたがこの島で生物学的な研究を開始するとしたら、①どのようなテーマで、②どのような手法（想像上の機械を使用しても良い）を用いた研究を行うか、400字以上、600字以内で説明しなさい。ただし、その研究によって明らかにしたい事象（目的）とその研究の独創性についての説明を含めること。

平成30年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 海洋自然科学科 生物系

出題の意図

理学部海洋自然科学科生物系のアドミッション・ポリシーは、「多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人」、「自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人」、そして「生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人」である。このアドミッション・ポリシーに関連し、問1は、生物学に関する文章を読み、その内容を理解して意見を論理的に表現できる能力を問う。問2は、与えられた設定の中で、高校までに得られた知識、経験、生物学的な考え方をもとに、自身で問題を設定し、その解決のための方法を論理的に考案し、かつそれらを具体的に説明する能力を問う。同時に、自身の興味と発想力に基づき、生物学に対する積極的な姿勢を評価する。